



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和3年11月9日 22号 文責 校長 岩下裕之介

自転車教室

10月23日（土）10時より、佐々町交通安全母の会主催で自転車教室を運動場で実施しました。

最初に江迎警察署交通課の方より、交通ルール全体について説明していただきました。

- ・自転車は軽車両と言って車の仲間であること。だから交通ルールをしっかりと守らないといけないこと。
- ・自転車の場合、自分だけでなく相手を怪我させる危険性があること。つまり、被害者になるだけでなく、加害者になる可能性もあること。
- ・ルールを守ると、交通事故にあいにくくなること。

子どもたちは、交通課の方の話を真剣に聞いていました。

次に、持ってきた自転車の点検の仕方を教えていただきました。点検の仕方の合い言葉は、「ぶたはしゃべる」です。

ぶ・・・ブレーキ
た・・・タイヤ
は・・・反射材
しゃ・・・車体
べる・・・ベル



合い言葉で教えていただくと、後から自分で確認する時にもとても便利です。

点検が終わったら、運動場に作っていただいたコースを使って自転車教室を行いました。ここでは、鹿町工業高校のみなさんが作って下さった模型の信号機も設置し、警察の方に教えていただきながら、道路の通行の仕方や交差点の渡り方などを練習しました。コースの途中には一本橋やスラロームもあり、自転車技能を試すような場面もありましたが、子どもたちはグループに分かれて何度も練習しました。

最後に、交通安全母の会 会長 森田様より、自転車教室の総まとめをしていただきました。自転車側が「加害者」になり、多額の賠償請求を求められていることについても具体的に話をさせていただきました。子どもたちは自転車を利用する時の交通ルールとマナーについて、真剣な態度で学習することができました。大切な命を守るために、今回学習したことを、これからの生活でもしっかりと生かしてほしいと思っています。

大変お忙しい中ご協力いただいた、佐々町交通安全母の会の皆さま、江迎警察署交通課の皆さま、佐々町教育委員会の皆さま、口石小学校PTAの皆さま（本部・生活指導部）、口石小学校の子どもたちのためにありがとうございました。



活躍する子供たちの紹介